

① 広報のまち

交通安全の施設を整備

登別に横断歩道橋

激増の一途をたどる交通事故に対処するため、多年より事故多発地域、その他緊急に交通の安全を確保する必要がある道路に、交通安全施設整備事業として、横断歩道など多くの施設の増設を促進してきました。

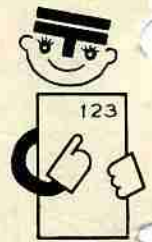
ことしも、小・中学生・幼稚園児たちを輪禍から守るため、登別小学校前と登別中学校前の国道三十六号線に、横断歩道橋が架設されることになり、ただいま急ピッチで工事が進められています。

この場所は、通学児童、生徒および、一般通勤者が一番多く通る場所、この地域の人たちが交代で、毎日交通整理にあたっている場所だけに、よろこびはひとしお。

なお、開通は、登別が七月中旬、登別は八月中旬になる予定です。



登別中学校前に架設された横断歩道橋



七月一日から、あなたが出す郵便物に郵便番号を書いていただくことになりました。

これからは、赤いわくを印刷してある封筒やはがきが売り出されることとなりますが、これは、郵便番号を書き入れるための欄です。郵便番号とは

全国の郵便局の配達受持区域のこと

より早く・正確に郵便番号制を実施

い子郵便も少なくなりません。

町内郵便局の番号

当町の集配局の郵便番号は、つぎのとおりです。

幌別郵便局 ○五九一〇三

来馬、幌別、富岸、川上、鉾山、千才、札内西

登別郵便局 ○五九一〇四

登別、富浦、中登別、札内中、札内東

登別温泉郵便局 ○五九一〇五

登別温泉、カルルス、上登別

東室蘭郵便局 ○五〇〇

登別、上登別（この地区は、東室蘭郵便局の配達区域となっております。）

郵便番号の書き方

封筒やはがきに印刷されている赤いわくの中に、三けたの郵便番号

に「三けたの番号（一部の地区には二けたの子番号が付きま）がつけられます。郵便を出すとき、あて先の住所、氏名といっしょに郵便物の赤いわくの中に、この番号を書いていただくこととなります。

郵便番号制を採用する理由

郵便番号を書いていただくことにより郵便物を機械にかけて区分けしたり、手で区分けする場合でも簡単に分けることができ、作業の能率が上がり早く発送することができますので、今までより早く郵便物が届くようになります。また、中継ぎの手数がはぶけるので、迷

号を左側から三つ目までの大きいくわに、また子番号は、右側の小さいわくに書き入れます。

筆記用具は、ふつう郵便のあて名を書くときに用いるものなら何んでもかまいませんが、色は、青か黒とし、はっきりわくいっばいに書いてください。

小包や帯封などの郵便は、わくは必要ありませんが、郵便物表面右上部に見やすく書いてください。なお、自分の住所上部にも郵便番号をお書きください。相手の人が、あなたに返事を書くときに便利です。

不明の点は、各郵便局にお問い合わせください。この郵便番号制の実施に協力しましょう。

来春実現メドに

市昇格運動

第二回定例議会

第二回定例議会は、六月十三日より三日間にわたって開かれまし

十三日は、十勝沖地震災害状況と四十二年度繰越明許費の報告二

件、四十三年度一般会計補正予算と監査委員の選任など議案三件、

学校教職員の時間外勤務について協議案一件が審議され、いずれも

原案どおり承認、可決されました。十四日は、新市制実現運動、登

別町開基百年行事など協議案四件が審議され、いずれも承認されま

した。十五日は、商工労働会館の建設について協議案一件と決議案一件

意見案一件が審議され、いずれも承認、可決されました。三日間の審議された主なものは

次のとおりです。十勝沖地震災害状況
五月十六日午前と午後の二回に

わたり発生した大地震は、各地に大きな被害を与えました。各地に

町でまとめた被害状況は、次のとおりです。
○人的被害 軽傷者二人
○家屋の被害 半かい四棟一、二、一〇〇千円、一部破損二十八棟

第二回定例議会

○町有施設の被害 道路及び側溝六ヶ所一、四〇〇千円、上水道二十一ヶ所一、二八〇千円

学校七ヶ所一六、〇〇〇千円、その他一七八〇千円
計一〇、四六〇千円

○商店その他の被害一〇五件 七、一七八千円
○国、道の施設等の被害 一四、一〇〇千円

合計 四八、五七八千円
四十三年度一般会計補正予算 六〇、五六六千円を追加し、総額一、〇二七、七八七千円となり

ました。補正の主なものは、老人家庭奉仕員設置費補助金、

十勝沖地震被災者見舞金、西札内地区土壌侵蝕防止事業、富浦地区

小規模治山事業、登別漁港修築事業負担金、町道維持補修工事、上

鷺別地区中央路線造成工事、紅葉谷橋新設工事（継続分）、文教施設および道路等災害復旧事業

監査委員の選任
五月二十八日、中村良治監査員が死去され、後任に須藤善作氏（字登別町）が選任されました。

新市制実現運動
新市制実現運動にあたっては、五月二十一日東京都で、全国から

人口三万人以上の三十二町が参加して、新市制実現金調成会の発足をみて、本 月をメドに市制

実現のため運動を展開することになりました。当町においても、新市制実現に関する要望決議がなされ、政府並びに国会に強く働きかけることになりました。

登別に青少年スポーツ会館建設
登別地区連合町内会では、地域青少年健全育成のため、字登別町九十八番地に登別青少年スポーツ会館を建設することになりました。

工事費は、百六十万円（町費助成四十万円）で、木造平家モルタル百三十二平方メートルです。

この建設助成金について審議し、議会では承認しました。今後、青少年のスポーツの場として、使用されることになっています。

幌別に

商工労働会館建設

商工業者と労働者の総合センターを建設することになり、その建設計画案が、議会に提出されました。

これによると、道商工会館等建設事業補助要綱により、道、町の補助を受け商工会が建設し、工事費は三千五百万円。

建設場所は、幌別駅西口前で、建設規模は、日型鉄骨コンクリート造り三階建、延九百五十二、〇七平方メートル。

一階には、管理事務室、ピロティ管理入室

登別地区学校プール 七月二十日まで完成

水泳シーズンにまにあわずため六月より四七四万円をかけ登別中学校グラウンド内に建設している学校プールは、いま急ピッチで工事が進められています。

このプールは、長さ二十五メートル、幅十六メートルの学校水泳プールで、今後は、海での子どもの水死事故が起こる心配がなく、

小中学校の生徒たちは、新プールにたいがい水しぶきをあげ、健康にたくましく体をつくるため利用されることでしょう。

このプールが完成すると、町内の学校水泳プールは三つ目となります。

家庭奉仕員設置

老人福祉をより以上にたかめ、お気のどきな老人を幸せにするため、町では、老人家庭奉仕員（ホームヘルパー）二名を委嘱し、ただいま活動中であります。

奉仕員の仕事は、次のようなことですが、その家庭の実態によって異なることがあります。

- 衣類の洗たく、補修
- 同居等の掃除、整とん
- 身のまわりの世話
- 生活や身の上の相談、助言

などで、対象となる家庭は、老人で、身体及び生活に恵まれない家庭で、日常生活を営むのに支障がある低所得の家庭です。

奉仕員は、毎週二回以上家庭訪問しますので、奉仕員を必要とする方は、役場住民課、各支所、または地区担当民生委員に、遠慮なく申出ください。

奉仕員は
山崎数子さん（字来馬二七三番地）
熊谷信子さん（字来馬三二〇番地）



青少年の健全育成

明るい社会から

七月一日から七月三十一日まで「明るい社会はあなたの手で」と全国的に社会を明るくする運動がはじまりました。

この運動は、すべての人が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会をきずこうとする運動です。

一人の犯罪者がでると火災同様被害者のもとより、周囲の人たちや行政機関が大きな犠牲を払わなければなりません。自己の幸福と安定は、その地域社会全体の「明るい住みよい」ことによってはじめて生れます。

たとえば、青少年があやまちを犯しても、他人の子もわが子も社会の子として、温い心で見守り、将来への希望と自覚をもたせ、更生させることが、これからの青少年の犯罪を防止し、明るい社会をつくるためにもっとも大切なことなのです。

今回の運動は、特に家庭、学校職場、地域社会の人々が、それぞれ立場において、この問題をとりあげ、犯罪と非行のない明るい社会をつくるために協力しましょう。

夏休み中の

非行化を防ごう

子どもたちがいばん楽しみにしていた夏休みがやってきました。

この楽しい休みも、長くつづくとしたいに生活が乱れ、悪の道へ落ち込む子どもさんもあとを断ちません。

どうか、お子さんを非行から守るため、つぎのことを実行させましょう。

- 夏休みを楽しく有意義に送らせるため、自主的な行動計画をたてさせましょう。
- キャンプや水泳、登山には、必ず保護者をつけていかせましょう。
- 夜は行先き、帰る時間の制限をしましょう。
- アルバイトなどをさせるときは勤め先、友人関係をよく調べ、子どもにあった仕事を選びましょう。

青少年補導員きまる

任期満了となった当町の青少年補導員が改選され、次の方が委嘱されました。

補導員さんは、青少年健全育成並びに非行防止活動に、日夜活躍する方々です。

- 幌別地区 浅沼春次郎、藤田晃城 高橋美章 赤樫 武 渡盛俊 宏 安宅邦光 肥後義治 渡辺三男 高柳久雄 多田孝次郎 山口三太郎
- 鷲別地区 平 広 本江亮二
- 登別地区 中島康夫 川端京市 有坂了考 稲田治男 芳賀四郎
- 登別温泉地区 洪木敏男 木曾繁一 小笠原岩吉

自治功労者として

三議員

地方自治振興発展のためつくした功績と、在職二十年もの永年にわたり、登別町議会議員としてつくした功績が讃えられ、次の議員さんが北海道町村議会議長会会長より開道百年を記念して表彰されました。

- 志賀 裕 (字鷺別町)
- 三浦守治 (字登別温泉町)
- 室 久吉 (字鷺別町)

社会福祉功労者

去る六月十八、十九日カルルス

表

彰

- 優良母子家庭 小牧正顕 (字米馬)
- 身体障害者援護功労者 (身障胆振支部長表彰) 大場ヒデ (字登別町)
- 胆振支庁長表彰 多田 弘 (字米馬富士鉄社宅)
- 胆振社協会長表彰 内田利春 (字上鷺別)
- 社会福祉事業功労者 大家保治 (字米馬)
- 社会福祉協会長表彰 多田 弘 (字米馬富士鉄社宅)
- 社会福祉事業功労者 内田利春 (字上鷺別)
- 社会福祉事業功労者 大家保治 (字米馬)
- 社会福祉事業功労者 小牧正顕 (字米馬)
- 社会福祉事業功労者 大場ヒデ (字登別町)

「地震」手早く火の始末

「地震といえは火事」これは、木造家屋の多い当町では、忘れることが出来ません。

地震を感じたら何をさておき、各自が火の始末を手早くすることが必要です。

今回の十勝沖地震で火災が発生しなかったことは、火の始末がよかった結果と思えます。今後地震が起きたら、次のことを守りましょう。

- ストープ、コンロ、かまど等の火を消すこと。地震がおきても十分に火の始末をする余裕がありませんので、落つて行動しましょう。
- ガスの元栓を閉めること。ガスボンベが倒れたり、パイプが破損するとガスがもれ危険です。
- 電源を切ること。安全器また

温泉市街が交通制限
七月十日から次のとおり登別温泉市街が交通制限されましたので、車の所有者及び運転手の方は十分ご注意ください。

整形外科病院より登別側二百メ

8月6日は 献血の日

- 9時～12時 登別自動車学校
 - 13時～16時 生活館
- みんなで献血をしましょう



町の人口	
(六月末現在)	
男	二二、七四八人 (五七増)
女	二二、一三八人 (七六増)
計	四、一八八六八 (一三三増)
世帯数	一一、三三三 (二五増)

窓口をカウンター式に 充実した住民サービス

4月より役場庁舎の増築工事を進めておりましたが、このほど完成しました。各課の配置は次のとおりです。

一般消防業務は内線電話に

庁舎内の電話自動化にともない中央公民館と消防本部の電話は内線化されましたので、ご用の方は役場（代表・2111番）におかけください。

なお、消防事務については、一般業務のみで、火災および救急通報は119番、その他の緊急連絡は2551番におかけください。

